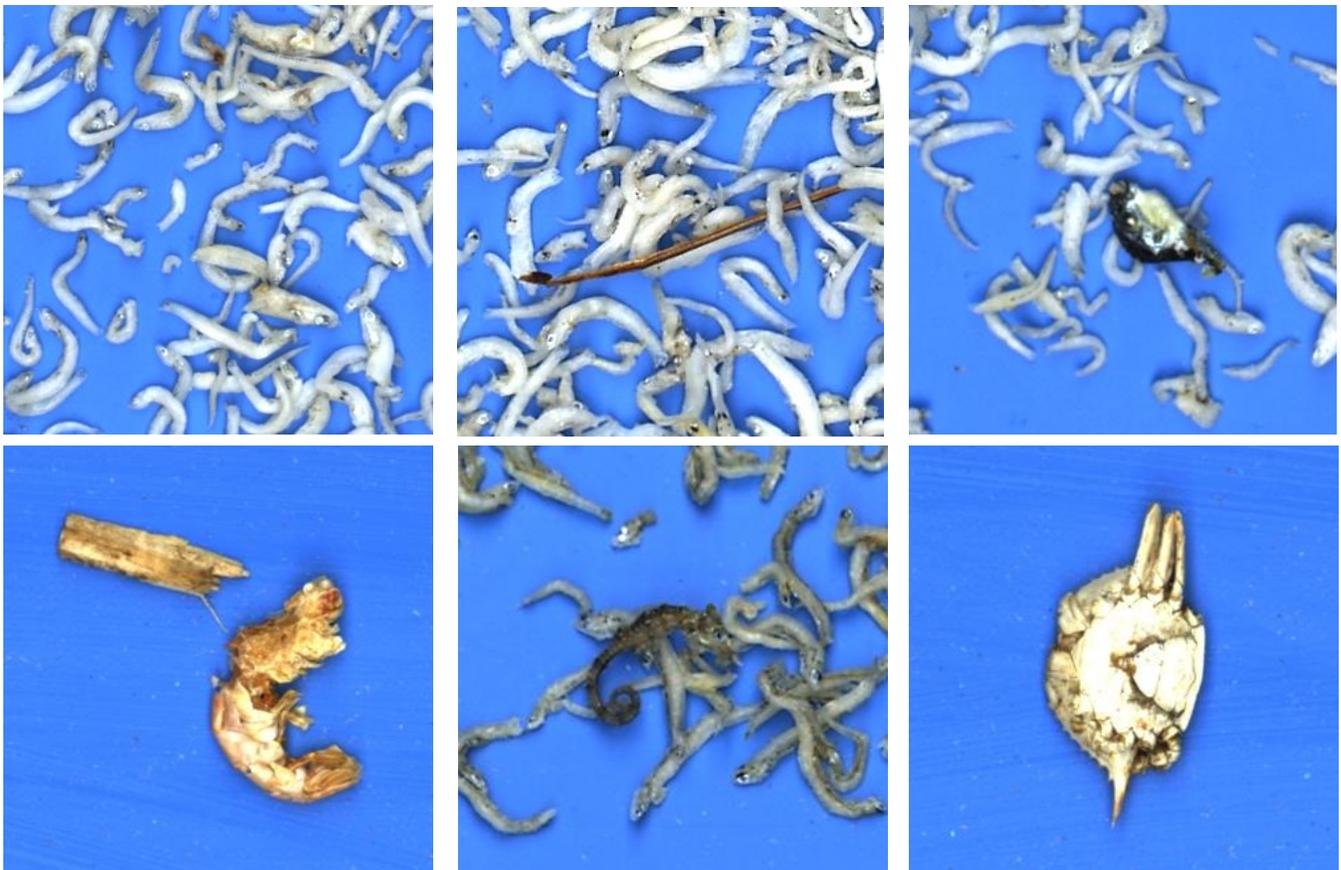


画像検査装置 NIIS AI搭載

カメラ・照明 + AI + マテハン技術を駆使し、「目視検査の自動化」
「見えないものの可視化」に貢献します。

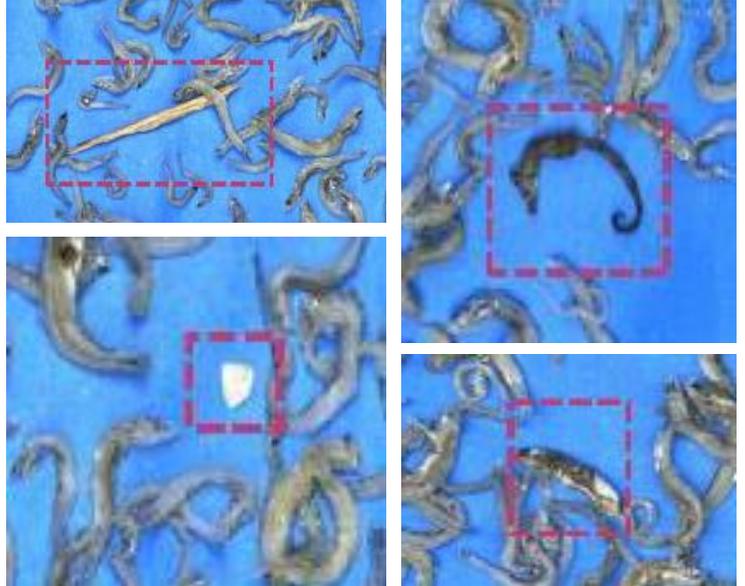
課題：いりこ・しらすの目視検査の省人化

いりこやしらすには、小さなカニやエビ、貝殻、木片など様々な異物が混入してしまいます。
これまで省人化のために色彩選別機をはじめとする様々な装置を導入してきましたが、色が似ている異物もあるので除去できず、目視検査員の負担が高い状態が続いています。



解決策：AIで検出する

様々な異物を検出対象として登録してトレーニングしたAIを搭載し、リアルタイムに異物検査できるシステムを開発しました。



効果：検査コスト削減、食の安全性向上

検査精度に満足いただき、フィーダ、排除装置と合わせて検査装置化進行中です。
こうした目視検査は、通常10m/min程度のベルトコンベアの上で複数人で行われますが、装置化すれば検査員の人数を減らすことができ、コスト削減につながります。
また、甲殻類も除去できますので、アレルギー対策面での安全性アップにつながります。

搭載AI：Roxy AI
搬送速度：30m/min
処理量：3.3kg/min (200kg/h)

【動画】
煮干し検査



しらす検査

